



体重の倍以上の重さのバーベルを上げる武藤さん

輝いています

ひと

武藤 隼人 さん

大舞台で初の栄冠を

持

ち上げたバーベルの重量を競い合うパワーリフティング。県立越谷北高校

パワーリフティング部の武藤隼人さん（16歳・塚越5丁目）は、重力との闘いともいわれるこの競技に情熱を傾ける1人です。昨年11月の県大会を勝ち抜き、今年3月には、2年連続となる全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会に出場します。

中学生のときは剣道を通じて心身を鍛えてきた武藤さん。パワーリフティングとの出会いは高校入学時のことでした。新入生向けの体験入部で、バーベルを上げたときの爽快感や結果が数字で表れる分かりやすさに触れて興味を抱き、

迷わず入部。毎日仲間とともに汗を流しています。

同競技は3種類の上げ方でバーベルの挙上重量の合計を競います。肩に担ぎ屈伸を行う「スクワット」、ベンチ台に横になり胸の上で上げる「ベンチプレス」、そして、床に置いたバーベルを膝まで引き上げる「デッドリフト」です。

入部以来、バーベルを使ったトレーニングに加え、バランスよく筋肉をつける体づくりなど、地道な努力を重ねてきた武藤さん。入部当初は270キロだった記録も、昨秋の県大会では425キロを上げ、参加した66競技だけでなく74競技の階級の選手をも上回るほどに実力を伸ばし、全国大会の切符をつかみました。

昨年11月のルール改正で記録が伸び悩む選手もいるなか、既に新ルールに対応し、追い風になるなど更に活躍が期待される武藤さん。現在では記録を伸ばし、435キロを上げる好調ぶりです。「昨年の全国選抜は最下位に近い成績で終わり、悔しい思いをしました。今回は自己ベストを出して優勝したいです」と、力強く語る武藤さん。全国の大舞台でもずしりと重いメダルをつかみ上げてくれることでしょう。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No. 8 —



現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)

明治18年、酉年のために暁斎が描いた七福神の錦絵です。干支の七福神錦絵シリーズは、明治17年刊の本図から始まり、暁斎の没後は暁翠と暁斎一門に受け継がれ、明治29年の申年分まで出ました。本図は暁斎が歌舞伎狂言「寿曾我対面」に見立

てた七福神です。芝居好きの江戸っ子にとっては、暮れが「忠臣蔵の討入」で終わるなら、正月は「曾我の対面」で始まるのでした。おもしろいことに、画題に書かれた「暁筆」の横に「ぎようしつ」と江戸なまりのルビが振られています。



暁斎筆「七福春乃暁筆」 明治17年(1884)12月御届
武川清吉板 大判錦絵三枚続

河鍋暁斎記念美術館 1月4日(水)～2月25日(土)

「新春開運 七福神と酉年の祝い」展
同時開催「野坂惇和 波の戯画展Part.2」展

開館＝午前10時～午後4時 休館＝木曜日
毎月26日～末日 ところ＝南町4-36-4
入館料＝一般540円 中学生～大学生430円
小学生以下210円 詳細＝同館(☎441-9780)
(20人以上の団体は要予約)



展覧会の詳しい
内容は美術館の
ホームページを
ご参照ください

